

令和5年2月22日

足立区立弥生小学校
校長 佐藤利之 様

足立区立弥生小学校開かれた学校づくり協議会
会長 高田 一雄

令和4年度学校関係者評価書

1、自己評価全般について

令和4年度、本校はコロナ禍において授業時数を確保し教育課程が実施されました。

このような中、本校は区学力調査の通過率が学校全体の2教科が区平均を上回ることが出来たのは、評価できます。

靴揃え・挨拶・廊下歩きに取り組んでいる児童の割合は高いがさらに定着させてください。

今後、子どもに夢を与え誇りの持てる学校を目指し、学校・家庭・地域と連携し、児童の学力向上と基本的生活習慣の定着した品格のある児童の育成に努めてください。

体力・運動能力の調査で長座体前屈、50メートル走のTスコアを高めてください。ソフトボール投げについては、正しい投球フォームを身につけさせ投力を向上させてください。正しく肘を使いより遠くにボールを、投げられるよう指導してください。

教員については、明るく教育熱心でチーム弥生として、まとまりがある学校運営ができています。若手教員や他地区から転入の中堅教員が、授業を「主体的・対話的で深い学び」とするために足立スタンダード型授業を理解し、授業力の向上に努めてください。

本校は、開かれた学校づくり協議会型コミュニティ・スクール（以下開協型CS）の設置校で、学校や教育委員会と協働、協創し「地域とともにある学校」として活動しています。今後、協創力を推進し一層の活動をして行きます。学校・児童・保護者・開協型CSが、学力の向上と基本的生活習慣の達成に取り組むことで、児童達はルールを守りいじめのない良好な友達関係ができ、快適な学校生活を送ることができます。児童の挨拶力向上のために、挨拶名人の取り組みや放課後子ども教室（以下ASY）のスタッフが挨拶を積極的に行っています。

「早寝・早起・朝ごはん」の徹底は、児童の生活リズム改善に不可欠です。幼児期からの生活習慣が大事で開かれた学校づくり協議会（以下開協）の幼保小中連携部会は、小1プロブレム対策の一環として、近隣の幼稚園・保育園等の年長組の保護者に8年間に亘りアンケートを取り、データ化しました。その成果を「小1プロブレム課題追究調査」と題し、開協の広報紙にも掲載し、保護者・近隣学校・地域・教育委員会等に配布しています。今後、得られた課題を分析し、より良い課題解決をしていきます。

2. 学校から提示された「課題」「保護者・地域への期待」について

重点的な取組事項— 1（学力向上アクションプラン）

A 今年度の成果目標で「区学力調査の通過率が区平均を超える」は実施結果が通過率国語87.0%、算数84.2%でした。達成基準で区平均を上回るでは国語は4.9ポイント上回りました。算数は残念ながら0.1ポイント届かなかった。学校全体の2教科通過率は区平均を1.9ポイント上回ったが、2・3年の算数は区平均に届かず課題が残ります。

B 目標実現に向けた取組みのアクションプランで

「AL（エーエル＝アダプチブ・ラーニング）タイム」は●達成目標が3年生以上5教科のALタイム実施が前期20回、後期から12月まで15回とする。

■実施結果が実施回数は3年以上で12月までに35回を超えました。全学級がタブレット端末を活用できるよう指導してください。「漢字コンテスト・計算コンテスト」は●達成目標が2年以上のテスト結果80点以上児童がクラスの8割とする。

■実施結果が今年度は漢字コンテストのみで通過率（合格者数÷受験者数）は55.8.7%でした。

「ステップアップタイム（朝学習）」は●達成目標が全学年の国語で前期40回、後期12月までに25回以上実施する。

■実施結果が12月までの2年以上で、65回以上クリアーしました。ステップアップタイムの時間を有効に活用して定着率を上げてください。今後に期待します。

「読む力の向上」は●達成目標が国語の教科書音読実施、国語辞典の活用率8割、単元テスト前の一斉読みは1・2年の担任全員から報告を実施する。

■実施結果は音読の回答は76.6%、時典54.4%でした。タブレットを使うようになり音読や国語辞典の利用する頻度が低下しました。今後の対応を検討してください。

「家庭学習の定着」は●達成目標が家庭学習をしている児童がクラスの9割とする。

■実施結果は家庭学習をしている児童は93.2%でした。自主学習の内容にばらつきがないように、さらに定着を上げてください。

重点的な取組事項—2 (品格向上)

A 今年度の成果目標は児童の規範意識や帰属意識を培うことで、自己肯定感を高め品格ある態度や行動を身に付けた児童を育成する。の達成基準は児童アンケート（中・高学年対象）で、各項目にYESと回答する児童の割合を8割超えとする。この実施結果は児童アンケートで品格に関する5つの項目にYESと回答した児童が92.7%で規範意識や帰属意識は概ね定着しています。

B 目標実現に向けた取組み

●達成基準で「きまりを守っている」「学習に集中している」と回答する中・高学年児童の割合を8割以上にする。

■実施結果は児童アンケートでは「きまりを守っている」割合は男女平均96.6%で「学習に集中している」は男女平均が92.7%と共に9割を超えました。品格チャレンジシート等を活用してより良い行動の拡がりを得て、さらに定着を図ってください

●達成基準で「相手の嫌がることをしない」「友達の良いところを見つけている」と回答する中・高学年の児童の割合を8割以上にする。

■実施結果は「相手の嫌がることをしない」と回答した児童は93.4%で「友達の良いところを見つけている」は91.6%でした。3年男子は「友達の良いところを見つけている」が73.9%と低かったので、今後も指導を継続してください。

●達成基準で児童アンケートにより「三名人を心がけている」と回答をする中・高学年児童の割合を8割以上にする。

■実施結果は「挨拶・靴揃え・廊下歩きの三名人を心がけている」児童は女子93.4%で、男子は84.7%でした。三名人取り組み期間中だけでなく、常

時取り組める指導を心がけてください。

重点的な取組事項— 3 (体力向上)

A 今年度の成果目標は体力・運動能力調査の体力合計点の伸長を目指して、多様な運動に取り組み、運動する楽しさを味わわせる。達成基準が今年度の体力調査の結果（体力合計点）で学年別男女別 12 集団の体力調査の結果が 8 項目すべて T スコアを上回り、児童アンケートで運動が楽しいと回答する中・高学年の割合を 8 割以上とする。

実施結果は測定 8 種目の T スコア（偏差値）において 8 種目中半分以上が、区平均を上回った集団は 12 集団中 7 集団でした。次年度も特に 1 年 5 年は体力向上策を継続してください。

B 目標実現に向けた取組み

●達成基準が多様な運動に取り組み体力・運動能力を伸ばすは学年別男女別の 12 集団のうち、8 種目すべてが区の T スコアを超える。

■実施結果は区の T スコアを超えられなかった種目と集団数は、長座体前屈で 7 集団で突出して多かった。他にもソフトボール投げで 4 集団、50 メートル走も 3 集団が区の平均に届かなかった。長座体前屈については体育の授業で、ストレッチを取り入れる対策を検討してください。ソフトボール投げについては、ミズノ投げ方教室を参考にして、各学年で取り組んでください。次年度も更に体力の向上に尽力してください。

●達成基準が友達と協力し合い、競い合って、運動する楽しさを味わう。児童アンケートで「体育（運動）が楽しい」と回答する児童を 8 割以上とする。

■実施結果はコロナ禍の影響で児童同士の協力や対話が減ってしまったが「体育は楽しい」と答えた男子は 89.5%、女子は 85.6%でした。運動の楽しさを味わう授業の工夫をしてください。

●達成基準は「めあてをもって運動し、運動後に取り組んだことを振り返る」と児童アンケートで回答する児童の割合を 8 割以上にする。

4

■実施結果は「めあてをもって運動している」児童の割合が男子 83.3%、女子 87.3%でした。5 年男女と 6 年女子は 8 割に届きませんでした。中学年から運動のめあてを持ち、取り組む指導をしてください。

3, その他

今年度はコロナ禍でも教育は、授業時数を確保し実践されました。校長、副校長はじめ各教職員が児童のために最善の努力と行動で乗り越えて、現在も健全な授業を行っていることに敬意を表します。私たちは「開かれた学校づくり協議会」「開協型CS」で応援とバックアップに尽力していきます。

弥生小学校は開協型CS指定校です。法律に基づく学校運営協議会が設置されたコミュニティ・スクールです。区立小学校68校、中学校35校で開協型CS指定校は13校のみです。「学校運営協議会」には、学校運営の基本方針の承認・学校運営に関する意見・教職員の任用に関する意見・学校支援活動等の総合的な企画調整、学校関係者評価書の検討などの全体的な協議、調整などの機能があります。これらの機能を生かして、地域とともにある学校として活動しています。さらに、第四中学校の開協型CSと小中連携して多様な活動をしています。

学力向上と基本的な生活習慣を身に付けるには、学校教育力と家庭教育力が不可欠です。さらに、地域の教育力は重要です。開協型CSは、地域の有能な人材で運営されています。

ASYは児童の遊びを学校で見守っています。このスタッフは、地域の子どもの安全を第一に考えている人たちです。コロナ禍においても、学校が休校にならない限り教育委員会からのコロナ対策方針を遵守し、遊具等の消毒作業を徹底して放課後の児童の見守り活動を継続しています。

家庭においては「学習のてびき」を上手に利用し、児童に家庭学習の習慣を身につけさせてください。

全教員が「チーム弥生」として働くことで、職員室は充実して行きます。児童を褒めて伸ばす教育を心掛けているので、児童も生き生きと学校生活を送っています。学力向上を目指し、足立スタンダード（主体的・対話的で深い学び）に基づいた授業を行うとともに、基礎・基本問題に取り組んで、児童の学力を高めることを期待します。

令和4年度本校開校70周年記念式典も周年実行委員会と教職員で準備を進めて、令和4年12月3日に終了しました。

凡例

●達成目標・達成基準

■実施結果

